

滋賀県立病院の現状について

【目次】

- 1 経営強化の取組の実施状況
 - (1) 医療従事者の安定確保
 - (2) 総合病院における診療機能の高度化
 - (3) 政策医療・不採算医療の安定的な提供
 - (4) 迅速・柔軟な経営
 - (5) 事務部門の専門性向上
 - (6) 経営強化・収支改善
- 2 経営状況の比較
- 3 次回協議会にて検討すべき項目

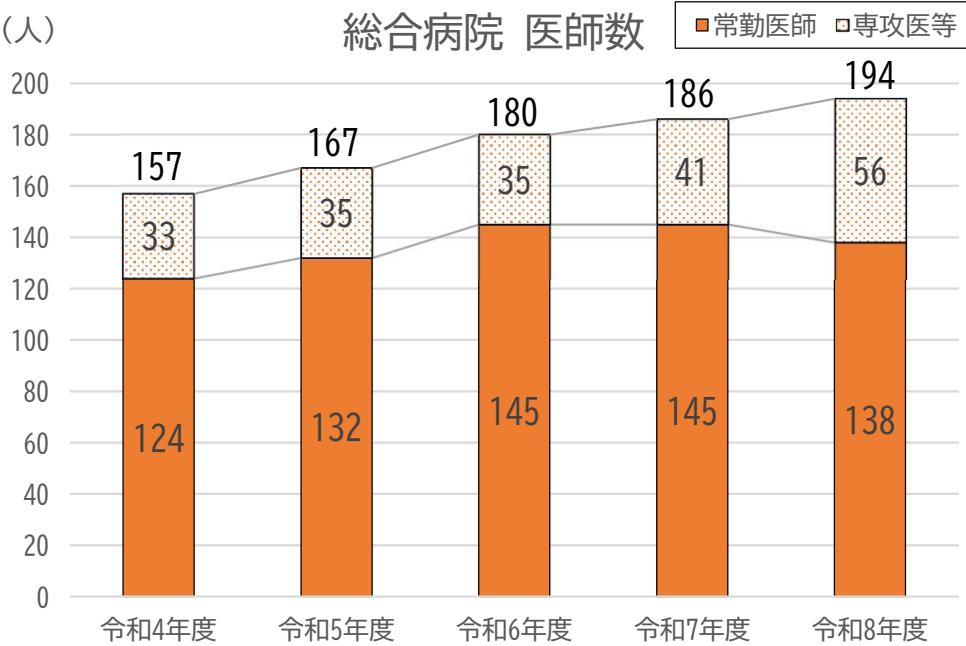
1 経営強化の取組の実施状況

(1)医療従事者の安定確保

医師	○病院統合による診療体制の拡充	○病院の魅力向上による医師の招聘
	○大学医局への積極的な働きかけ	○研修機能の強化

【総合病院】

●医師の数は大学医局との連携強化等により増加



※令和4年度から令和6年度までは旧小児保健医療センターの職員を含む。
※各年度4月1日時点の職員数
※初期研修医は含まない。

	滋賀県立総合病院 (635床)	※小児病棟移転後の 560床の場合	都道府県立病院平均 (総合病院・中央病院)
100床当たり 医師数	30.4人	34.5人	35.9人

※年度末時点の職員数(会計年度任用職員を含む) (出典) 令和6年度地方公営企業年鑑

●機能向上や施設整備等により病院の魅力向上

- ・TAVI(経カテーテル大動脈弁置換術)を実施(令和7年2月施設認定)
- ・パルスフィールドアブレーションを県内初導入
- ・外来手術室の整備等による手術件数の増加

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
手術室手術件数 (旧小児含む)	5,585件	6,064件	6,356件	6,837件

・放射線治療棟や放射線治療装置の整備



[左]OXRAY(オクスレイ):動体追尾照射が可能な高精度な放射線治療装置(令和7年度導入)

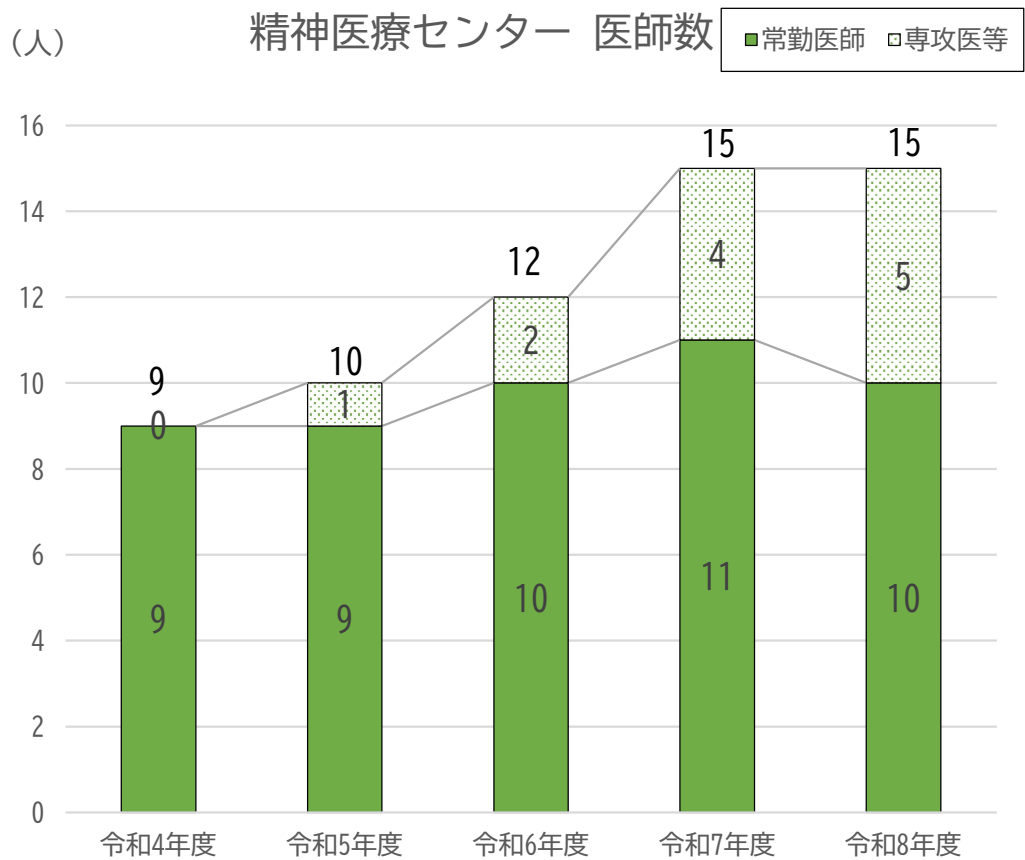
[右]TrueBeam(トゥルービーム):定位放射線治療や強度変調放射線治療が可能なX線照射装置(令和6年度導入)

1 経営強化の取組の実施状況

(1) 医療従事者の安定確保

【精神医療センター】

●精神科専門医研修基幹施設の認定で専攻医が増加



※各年度4月1日時点の職員数

	滋賀県立精神医療センター
100床当たり医師数	10.6人

※年度末時点の職員数(会計年度任用職員を含む)(出典) 令和6年度地方公営企業年鑑

●研修機能の強化

・精神科専門医研修基幹施設に認定(令和5年度)

	令和6年度	令和7年度	令和8年度
基幹施設としての専攻医の新規受入人数	1名	2名	1名

令和7年度に研修終了者2名を常勤医師・会計年度任用職員として採用

・子どものこころの専門医研修施設群に認定(令和3年度) 令和8年度現在2名の医師が研修を受講

・精神保健指定医取得に向けた支援を行うとともに、 滋賀医科大学等との連携を進め専攻医の受け入れ などを実施

●病棟の再編等の取組

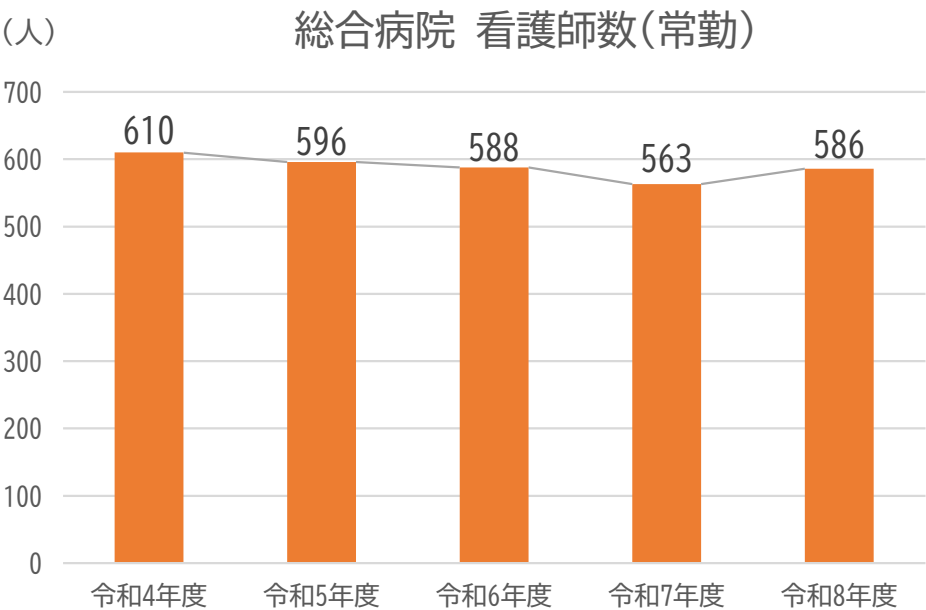
- ・常勤医師は定員(14名)まで採用が進まないこと、
ベテランの医師の退職や育児休業等で依然として不足
→病棟主治医制の導入や医師の業務の整理を実施
- ・医局の改修を行い勤務環境を改善(令和7年度)

1 経営強化の取組の実施状況

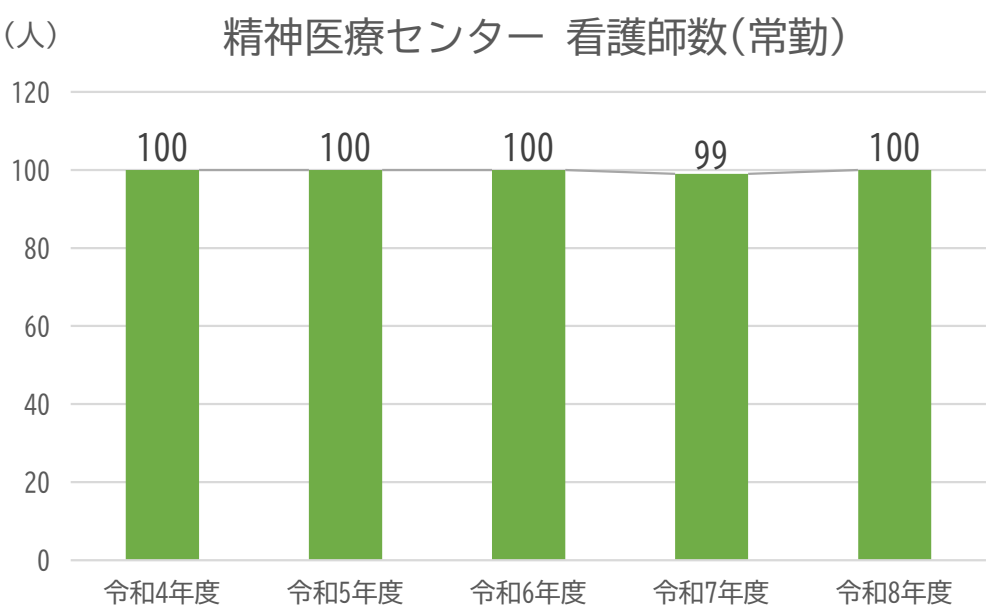
(1) 医療従事者の安定確保

看護師・ 医療技術員	○職員の処遇改善	○専門性の高い人材の育成
---------------	----------	--------------

●看護師数は退職者の増や採用試験の応募者数の減等で減少したが、令和8年度に増加に転じた。



※令和4年度から令和6年度までは旧小児保健医療センターの職員を含む。
※各年度4月1日時点の職員数(会計年度任用職員除く)



	滋賀県立総合病院 (635床)	※小児病棟移転後の 560床の場合	都道府県立病院平均 (総合病院・中央病院)
100床当たり 看護師数	97.6人	110.7人	124.1人

	滋賀県立精神医療 センター
100床当たり 看護師数	82.9人

※年度末時点の職員数(会計年度任用職員を含む) (出典) 令和6年度地方公営企業年鑑

●看護師や医療技術員に対する手当等を創設

- ・診療報酬制度に改定に併せて、看護師や医療技術員が救急や夜間に対応する際の手当を創設(令和4年10月～)
- ・専門看護師等や特定行為研修を修了した看護師等の専門資格等を有する看護師への手当を創設(令和6年～)
- ・看護師の夜勤専従勤務制度の試行(令和7年2月～)

1 経営強化の取組の実施状況

(2)総合病院における診療機能の高度化

○DPC特定病院群(旧Ⅱ群)への移行

- 令和8年6月からDPC特定病院群へ移行
- ・令和6年度診療報酬改定時には診療密度が基準値を満たさず移行できなかった。小児保健医療センターとの病院統合やクリニカルパスの見直し等により診療密度が向上し令和8年6月に移行した。
 - ・病院統合に伴い機能評価係数Ⅱのうち定量評価係数(小児)が大幅に向上した。
 - ・救急補正係数は増加傾向にある。
 - ・機能評価係数Ⅱは医療機関群内の相対評価のため、令和8年6月のDPC特定病院群への移行に伴い低下したが、令和7年度まで増加傾向にあった。

年度	医療機関群	基礎係数	機能評価 係数Ⅱ 合計	保険診療 係数	効率性 係数	複雑性 係数	カバー率 係数	救急医療 係数	地域医療 係数	体制評価 係数	定量評価 係数 (小児)	定量評価 係数 (小児以外)	救急補正 係数	激変緩和 係数	基礎係数・ 救急補正 係数・激変 緩和係数 計
令和4年度	DPC標準病院群	1.0395	0.0951	0.0176	0.0144	0.0167	0.0216	0.0069	0.0179	0.0112	0.0003	0.0064	-	0.0000	1.1346
令和5年度	DPC標準病院群	1.0395	0.0963	0.0176	0.0145	0.0169	0.0212	0.0086	0.0175	0.0101	0.0007	0.0067	-	0.0000	1.1358
令和6年度	DPC標準病院群	1.0451	0.0950	-	0.0219	0.0216	0.0296	-	0.0219	0.0143	0.0001	0.0075	0.0098	0.0000	1.1499
令和7年度	DPC標準病院群	1.0451	0.1026	-	0.0251	0.0249	0.0319	-	0.0207	0.0128	0.0001	0.0078	0.0111	0.0000	1.1588
令和8年度	DPC特定病院群	1.0769	0.0901	-	0.0217	0.0252	0.0195	-	0.0237	0.0096	0.0064	0.0078	0.0115	0.0000	1.1785
R7全国平均	DPC標準病院群	-	0.0759	-	0.0214	0.0234	0.0143	-	0.0168	0.0104	0.0030	0.0034	0.0205	-	1.1468
R8全国平均	DPC特定病院群	-	0.0936	-	0.0237	0.0241	0.0226	-	0.0233	0.0135	0.0048	0.0049	0.0237	-	1.1688

※全国平均は、機能評価係数Ⅱは医療機関群内の平均であり、救急補正係数はDPC対象病院の全病院の平均

1 経営強化の取組の実施状況

(2) 総合病院における診療機能の高度化

○病院統合による診療機能の充実

●「こども医療センター」の設置

- ・小児患者への医療提供体制の調整を行う組織として、病院統合時に新設

●小児ドクターカーの運用開始（令和8年4月～）

- ・重症心身障害児や重篤な症状のある小児患者を居住医療圏外に処置しつつ救急搬送する小児ドクターカーを運用

●こころの診療科の充実

- ・令和8年4月から新たに医師が1名着任し、発達障害の治療体制を強化

○救急医療提供体制の強化

●救急科医師の増員

- ・令和3年度に救急科専門医が1名常勤化して以降、令和8年度現在で3名に増員（うち専攻医1名）

●救急体制の見直し

- ・令和7年度に救急体制を見直し、外傷等の救急患者の受入を再開したほか、救急患者の経過観察入院を実施

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
救急応需率	93.9%	95.0%	95.7%	98.0%
救急患者数	6,197人	6,613人	7,425人	7,608人

○ISO15189取得による医療の質の確保

●ISO15189（臨床検査室の認定）の取得（令和6年12月）

- ・一定水準以上の能力を有する機関として人材の確保や国際標準検査管理加算（320万円/年）の取得に繋がった

1 経営強化の取組の実施状況

(3)政策医療・不採算医療の安定的な提供

○病院統合や医師確保による機能強化、収支の安定化

- ・小児医療を今後も持続的に提供できるよう、病院を統合することで医師や看護師等を確保する

○県の政策課題への対応強化

●総合病院の取組

	取組事項
感染症対応	新型コロナウイルス感染症流行時に、入院病床の確保、発熱外来やPCR検査センターの設置等を早期から実施し、令和5年4月からは後遺症外来を開設
がん診療	がん診療連携拠点病院として全県のがん医療の質の向上と均てん化を推進
災害対応	総合病院が災害拠点病院として指定（令和7年4月）
レスパイト	県内の重症心身障害児等の保護者のレスパイト需要に持続的に対応するため、令和8年4月から医療型短期入所事業を開始

●精神医療センターの取組

	取組事項
依存症治療	依存症治療拠点医療機関としてアルコール依存症やギャンブル依存症等の患者に治療プログラムを引き続き実施
児童思春期	児童思春期精神障害の入院患者の入院環境整備のため病棟を再編(令和8年2月)

○経営改善努力と一般会計繰入金の安定確保

- ・紹介患者の増加等により診療収益は増加しているが、賃金や物価等の高騰により費用は増加
- ・一般会計負担金は毎年の予算編成時に知事部局と内容を確認し、国の繰出基準に基づき繰入金を受領

1 経営強化の取組の実施状況

(4)迅速・柔軟な経営

○病院統合時の組織の見直し検討

- ・病院統合時に事務局を統一し、清掃業務等の委託や外注検査等を統合して発注

(5)事務部門の専門性向上

○一般事務から医療事務(プロパー)への切替

- ・他病院での経験のある者を次長や係長等として配置
- ・病院運営職を令和7年度に新設し、令和9年度から採用予定

○経営強化のノウハウを持つ外部人材の積極的な登用

- ・他病院で事務局長や課長等の経験のある外部人材を積極的に採用（令和5年度、令和7年度、令和8年度）
- ・他病院の看護部長経験者を総合病院の看護部長として採用（令和4年度）

○医療マネジメントスキルの向上

- ・ベンチマークシステムを活用して診療材料の価格交渉を実施（令和7年度～）
- ・経営力向上タスクフォースは令和5年度には医師や看護師を含む経営改革推進会議（令和7年度から委員会に格上げ）に構成等を変更し、経営改善の取組を推進してきた。
- ・事務職員の資格取得の推進等は現時点では実施できておらず、研修体系を令和8年度中に整備予定

○事務職員の研修体系の構築

- ・他都道府県の研修体系や実施状況等の情報を収集し、令和8年度中に整備予定

1 経営強化の取組の実施状況

(6)経営強化・収支改善

○診療報酬の拡大

●新たな加算等の取得

	取得	加算等	効果額(見込)
総合	R4	感染防止対策加算 1	+82百万円/年
	R5	総合入院体制加算 3	+85百万円/年
	R5	地域医療体制確保加算	+41百万円/年
	R6	ベースアップ評価料	+92百万円/年
	R6	総合入院体制加算 2	+48百万円/年
	R8	急性期充実体制加算 2 (R8.4~R8.5)	+28百万円
	R8	急性期総合体制加算 3 (R8.6~)	+252百万円/年
小児	R5	感染対策向上加算 1	+6百万円/年
	R5	ハイケアユニット入院医療管理料 I	+59百万円/年
	R6	ベースアップ評価料	+2百万円/年
	R6	統合に伴う施設基準の適用	+9百万円/年
精神	R6	入退院支援加算	+1百万円/年
	R6	ベースアップ評価料	+15百万円/年

●DPC特定病院群への移行

- ・令和8年6月からDPC特定病院群へ移行
年間で約6千8百万円の増収見込

●DPC機能評価係数Ⅱの向上

- ・病院統合に伴い定量評価係数(小児)が向上

令和7年度		令和8年度
0.0001	⇒	0.0064

●救急補正係数の向上

- ・救急の体制強化等に伴い救急補正係数が
向上傾向にある。

令和7年度		令和8年度
0.0111	⇒	0.0115

○病院統合による施設利用の最適化

●統合に伴う施設最適化

- ・病院統合に伴い検査部門が本館に移転した後の空きスペースを活用し、こども棟における診察室を増設

○働き方改革・業務改善の推進

- ・給与支給明細書の電子交付(令和7年6月~)
- ・時間外勤務申請に係る給与システムの本人入力(事務局職員(正規))(令和8年3月~)

1 経営強化の取組の実施状況

(6) 経営強化・収支改善

○材料費・経費の縮減

●診療材料の切り替えや医薬品の価格交渉

- ・職員からの提案やSPD事業者と連携により、診療材料の切り替えや現行品の値下げを実施
- ・医薬品の価格交渉を従来から引き続き実施し、令和7年度以降は外部専門家を活用して価格交渉を行っている

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
医薬品削減額 (委託料除く)	5,619千円	9,098千円	6,062千円	15,735千円

○地域医療機関との連携・機能分化の推進

●紹介率等の向上

- ・紹介率(紹介数)および逆紹介率(逆紹介数)ともに向上傾向にある

[総合病院]

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
紹介率	旧 総合病院	79.1%	83.8%	85.8%	86.2%
	旧 小児保健医療センター	50.9%	51.4%	87.9%	85.2%
逆紹介率	旧 総合病院	76.4%	88.5%	90.4%	96.0%
	旧 小児保健医療センター	58.9%	68.2%	71.7%	90.3%

[精神医療センター]

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
紹介数	310件	359件	391件	436件
逆紹介数	437件	405件	441件	445件

●診療連携協定の新規締結

- ・総合病院においては、日野記念病院(令和6年1月)および琵琶湖中央リハビリテーション病院(令和6年5月)と新たに締結し、締結先の医療機関を計5機関に拡大

2 経営状況の比較

令和7年度までの財務状況の推移【総合病院(旧小児保健医療センター含む)】

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	R4→R7増減	概要
入院	病床数	635床	635床	635床	635床→588床	▲47床	R8.3.26削減
	延患者数	148,652人	155,831人	159,164人	155,782人	+7,130人	コロナの5類感染症移行後、患者数が増加 在院日数の短縮や加算の取得等により単価が向上
	日平均	407.3人	425.8人	436.1人	426.8人	+19.5人	
	病床稼働率	64.1%	67.1%	68.7%	67.3%	+3.2%	
	単価	73,655円	76,428円	83,016円	84,009円	+10,354円	
外来	新入院患者数	11,526人	12,350人	13,418人	13,997人	+2,471人	
	延患者数	244,056人	247,275人	254,568人	258,950人	+14,894人	
	日平均	1,004.3人	1,017.6人	1,047.6人	1,070.0人	+65.7人	
	単価	22,093円	24,017円	24,012円	25,088円	+2,994円	

(単位：百万円)

収益	医業収益	17,265	18,789	20,213	20,550	+3,285	患者数および単価の向上による増
	入院収益	10,949	11,910	13,213	13,087	+2,138	
	外来収益	5,392	5,939	6,113	6,497	+1,105	
	一般会計負担金	703	697	659	705	+2	
	その他	221	244	228	261	+40	
	医業外収益	6,886	4,121	3,566	3,925	▲2,961	コロナの病床確保補助金の減による影響
	一般会計負担金	3,078	3,155	3,070	3,326	+248	
	その他	3,809	966	496	599	▲3,210	
	附帯事業収益	209	214	230	234	+25	
	経常収益	24,360	23,124	24,009	24,709	+349	
費用	医業費用	21,099	22,331	24,104	25,063	+3,964	人事委員会勧告および人員増により給与費が増加 患者数の増に伴い材料費が増加 賃金・物価高騰により経費等が増加
	給与費	10,546	10,790	11,709	11,964	+1,418	
	材料費	5,194	5,961	6,572	6,619	+1,425	
	経費	3,514	3,746	3,957	4,279	+765	
	減価償却費	1,632	1,632	1,668	2,008	+376	
	その他	214	202	198	193	▲21	
	医業外費用	1,308	1,229	1,338	1,447	+139	
	附帯事業費用	203	206	226	225	+22	
	経常費用	22,610	23,766	25,669	26,734	+4,124	
	経常収支	1,750	▲642	▲1,660	▲2,025	▲3,775	
医業収支		▲3,834	▲3,542	▲3,891	▲4,512	▲678	
一般会計負担金 合計		3,937	4,016	3,876	4,211	+274	

2 経営状況の比較

他の都道府県立病院との経営状況の比較【総合病院(旧小児保健医療センター含む)】

(出典) 令和6年度地方公営企業年鑑

団体名	経営 形態	病院名	病床数	病床利用率 (一般病床)	医業(営業) 収益	職員 給与費	材料費	経常収支 (百万円)	経常収支 比率	医業(営業) 収支比率	修正医業 (営業)収支 比率	医業(営業) 収益に対する 職員給与費 比率	医業(営業) 収益に対する 材料費比率
青森県	全適	中央病院	584	77.5	27,335	12,924	11,831	▲2,658	92.0	87.4	85.7	47.3	43.3
岩手県	全適	中央病院	685	68.3	23,711	13,030	8,648	▲1,025	96.3	90.3	87.5	55.0	36.5
山形県	全適	中央病院	609	71.1	22,674	12,715	6,729	▲543	97.9	91.5	81.3	56.1	29.7
茨城県	全適	中央病院	500	73.2	16,203	10,482	5,566	▲1,455	93.0	81.6	80.4	64.7	34.4
東京都	地独	墨東病院	765	74.1	33,116	16,406	8,516	▲1,964	94.4	98.8	77.7	49.5	25.7
東京都	地独	多摩総合医療センター	789	86.1	38,265	16,851	468	▲3,474	91.7	97.4	79.5	44.0	1.2
山梨県	地独	県立中央病院	644	79.2	29,776	12,571	9,935	510	101.7	106.2	94.6	42.2	33.4
新潟県	全適	中央病院	530	78.9	17,667	9,243	6,619	▲335	98.3	90.2	88.9	52.3	37.5
静岡県	地独	静岡県立総合病院	718	88.2	36,868	13,506	12,447	▲941	97.5	97.3	88.4	36.6	33.8
富山県	一適	中央病院	720	82.3	28,172	13,520	10,771	▲1,691	94.7	93.4	92.8	48.0	38.2
石川県	一適	中央病院	630	64.1	23,970	10,716	8,982	▲663	97.5	95.6	94.3	44.7	37.5
福井県	一適	県立病院	747	81.5	21,794	11,765	6,802	▲1,798	93.3	86.8	85.5	54.0	31.2
岐阜県	地独	岐阜県総合医療センター	620	80.6	27,743	13,289	8,134	▲1,428	95.1	99.9	92.7	47.9	29.3
三重県	地独	総合医療センター	413	75.0	12,537	7,439	3,047	▲1,669	88.4	91.2	80.1	59.3	24.3
滋賀県	全適	総合病院	635	68.7	20,213	11,709	6,572	▲1,660	93.5	83.9	81.1	57.9	32.5
大阪府	地独	大阪急性期・総合医療センター	865	84.2	34,010	16,106	11,070	▲3,814	90.0	94.4	89.9	47.4	32.5
奈良県	地独	奈良県総合医療センター	540	86.1	27,336	12,787	9,017	▲2,032	93.1	97.3	87.9	46.8	33.0
兵庫県	全適	尼崎総合医療センター	730	89.5	35,603	20,194	12,110	▲2,197	94.8	89.3	88.3	56.7	34.0
鳥取県	全適	中央病院	518	82.1	19,152	9,535	6,489	▲650	97.0	92.0	90.6	49.8	33.9
島根県	全適	中央病院	568	81.9	18,252	11,119	4,819	▲1,697	92.4	86.6	83.1	60.9	26.4
広島県	全適	県立広島病院	700	86.0	24,217	13,500	7,501	▲1,061	96.1	93.8	92.5	55.7	31.0
徳島県	全適	中央病院	460	77.7	15,943	9,671	4,658	▲2,074	89.9	84.0	80.1	60.7	29.2
香川県	全適	中央病院	533	72.1	21,161	11,715	7,506	▲1,469	94.1	88.6	86.0	55.4	35.5
愛媛県	全適	中央病院	827	61.0	28,927	14,612	10,234	▲1,799	94.8	89.7	87.2	50.5	35.4
高知県	全適	高知医療センター	620	75.6	20,969	11,639	6,851	▲1,267	95.1	87.5	85.9	55.5	32.7
山口県	地独	県立総合医療センター	504	88.7	18,968	8,742	5,289	390	102.1	101.7	93.0	46.1	27.9
佐賀県	地独	佐賀県医療センター好生館	450	91.6	20,687	9,254	6,037	317	101.5	101.3	91.6	44.7	29.2
大分県	全適	県立病院	557	82.0	19,684	9,806	6,887	▲1,017	95.5	92.7	92.2	49.8	35.0
宮崎県	全適	宮崎病院	502	77.5	16,311	9,087	5,391	▲816	96.1	82.7	81.2	55.7	33.1
沖縄県	全適	中部病院	559	77.6	17,014	11,808	4,919	▲2,697	87.9	79.8	77.7	69.4	28.9
沖縄県	全適	南部医療センター・こども医療センター	444	77.8	15,540	11,845	4,021	▲2,672	87.3	77.1	75.0	76.2	25.9
滋賀県立総合病院 順位(31病院中)			12	28	20	19	20	17	20	27	24	7	18

2 経営状況の比較

令和7年度までの財務状況の推移【精神医療センター】

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	R4→R7増減	概要
入院	病 床 数	123床	123床	123床	123床	±0床	経験が豊富な医師 の退職等の影響に より外来患者数等 が減少
	延 患 者 数	29,889人	30,696人	32,999人	30,991人	+1,102人	
	日 平 均	81.9人	83.9人	90.4人	84.9人	+3人	
	病 床 稼 働 率	66.6%	68.2%	73.5%	69.0%	+2.4%	
	単 価	30,028円	27,999円	28,056円	28,653円	▲1,375円	
外来	新入院患者数	317人	342人	334人	334人	+17人	
	延 患 者 数	23,333人	23,395人	21,936人	21,304人	▲2,029人	
	日 平 均	96.0人	96.3人	90.3人	88.0人	▲8人	
	単 価	8,506円	8,683円	8,452円	7,707円	▲799円	
(単位：百万円)							
収益	医 業 収 益	1,228	1,194	1,245	1,188	▲40	外来の患者数およ び単価の減少によ る影響
	入 院 収 益	897	859	926	888	▲9	
	外 来 収 益	198	203	185	164	▲34	
	一般会計負担金	110	110	112	113	+3	
	そ の 他	23	22	22	23	±0	
	医 業 外 収 益	761	762	748	810	+49	給与費の増や機器 更新等に伴い一般 会計負担金が増加
	一般会計負担金	599	628	615	666	+67	
	そ の 他	162	134	133	144	▲18	
	経 常 収 益	1,989	1,956	1,993	1,998	+9	
費用	医 業 費 用	1,998	2,045	2,174	2,273	+275	人事委員会勧告に より給与費が増加 外来の院外処方へ の変更により材料 費が減少 賃金・物価高騰に より経費等が増加
	給 与 費	1,399	1,426	1,472	1,581	+182	
	材 料 費	97	102	101	77	▲20	
	経 費	329	337	395	400	+71	
	減 価 償 却 費	147	138	176	187	+40	
	そ の 他	27	42	30	27	±0	
	医 業 外 費 用	47	49	59	59	+12	
	経 常 費 用	2,045	2,094	2,233	2,332	+287	
	経 常 収 支	▲56	▲138	▲240	▲333	▲277	
医 業 収 支	▲770	▲851	▲928	▲1,084	▲314		
一般会計負担金 合計		709	738	728	779	+70	

2 経営状況の比較

他の都道府県立病院との経営状況の比較【精神医療センター】

(出典) 令和6年度地方公営企業年鑑

団体名	経営 形態	病院名	病床数	病床利用率 (一般病床)	医業(営業) 収益	職員 給与費	材料費	経常収支 (百万円)	経常収支 比率	医業(営業) 収支比率	修正医業 (営業)収支 比率	医業(営業) 収益に対する 職員給与費 比率	医業(営業) 収益に対する 材料費比率
北海道	全適	緑ヶ丘病院	168	29.9	768	1,220	59	▲17	99.1	43.0	41.4	158.9	7.7
北海道	全適	向陽ヶ丘病院	105	33.0	451	888	60	49	103.1	30.6	28.7	196.7	13.2
青森県	全適	つくしが丘病院	230	41.5	1,014	1,106	168	▲144	92.1	57.2	55.7	109.1	16.5
岩手県	全適	南光病院	359	47.3	1,534	2,213	200	▲411	87.2	51.1	50.6	144.3	13.0
宮城県	地独	宮城県立精神医療センター	258	62.2	2,903	2,180	149	▲211	93.2	93.0	61.3	75.1	5.1
山形県	全適	こころの医療センター	214	87.4	2,027	2,408	223	▲300	91.0	63.2	62.3	118.8	11.0
福島県	全適	ふくしま医療センターこころの杜	148	49.7	1,088	1,833	82	▲24	99.2	36.8	30.7	168.4	7.5
茨城県	全適	こころの医療センター	276	68.9	2,899	2,874	157	▲81	98.0	74.1	65.2	99.2	5.4
栃木県	地独	栃木県立岡本台病院	221	55.2	2,728	1,685	180	231	109.2	108.6	65.7	61.8	6.6
群馬県	全適	精神医療センター	265	57.8	2,036	1,955	184	86	102.9	70.2	68.9	96.0	9.0
埼玉県	地独	精神医療センター	183	82.2	3,605	2,522	163	▲137	96.4	98.5	57.9	70.0	4.5
東京都	地独	松沢病院	898	53.3	13,248	7,450	24	▲548	96.0	98.7	45.6	56.2	0.2
神奈川県	地独	精神医療センター	323	82.7	5,170	3,634	337	86	101.7	100.5	64.7	70.3	6.5
新潟県	全適	精神医療センター	400	30.9	1,069	2,221	119	▲91	97.1	34.8	34.8	207.7	11.1
石川県	一適	こころの病院	400	86.5	2,433	2,339	299	▲55	98.5	71.3	71.3	96.2	12.3
山梨県	地独	県立北病院	188	74.4	2,667	1,782	224	▲48	98.2	100.5	76.2	66.8	8.4
長野県	地独	こころの医療センター駒ヶ根	129	78.0	2,184	1,500	115	32	101.5	102.8	66.3	68.7	5.3
静岡県	地独	静岡県立こころの医療センター	274	54.5	2,808	1,698	113	▲120	95.9	96.2	58.1	60.5	4.0
愛知県	全適	精神医療センター	273	67.2	2,378	2,497	245	▲516	87.4	60.7	59.0	105.0	10.3
三重県	全適	こころの医療センター	318	60.9	1,961	2,338	187	▲571	83.8	57.3	51.2	119.2	9.5
滋賀県	全適	精神医療センター	123	73.5	1,246	1,472	101	▲240	89.3	57.3	52.1	118.2	8.1
京都府	一適	洛南病院	256	47.6	1,658	1,864	190	1	100.1	64.6	63.2	112.4	11.5
大阪府	地独	大阪精神医療センター	473	70.4	5,589	4,129	259	▲593	90.5	92.8	63.5	73.9	4.6
兵庫県	全適	ひょうごこころの医療センター	462	38.7	2,594	3,149	173	▲351	92.3	58.4	49.9	121.4	6.7
和歌山県	一適	こころの医療センター	300	43.4	1,235	1,399	96	58	102.8	60.1	55.6	113.3	7.8
島根県	全適	こころの医療センター	224	66.1	1,507	1,821	107	▲341	88.2	55.9	54.9	120.9	7.1
岡山県	地独	岡山県精神科医療センター	255	92.9	4,568	3,014	307	210	104.8	105.3	88.5	66.0	6.7
山口県	地独	県立こころの医療センター	180	87.3	2,228	1,392	105	179	108.7	108.7	78.8	62.5	4.7
香川県	全適	丸亀病院	215	39.3	874	1,310	138	▲415	78.6	46.2	44.9	149.8	15.8
長崎県	全適	精神医療センター	139	75.8	1,449	1,362	146	▲60	97.0	73.8	72.0	94.0	10.1
熊本県	全適	こころの医療センター	200	42.7	596	920	53	66	104.4	40.2	39.3	154.5	8.8
鹿児島県	全適	始良病院	334	75.4	2,283	1,829	332	380	113.1	81.2	80.8	80.1	14.5
沖縄県	全適	精和病院	250	56.4	1,379	1,896	267	▲484	82.0	52.4	52.4	137.5	19.3
滋賀県立精神医療センター 順位(33病院中)			32	11	25	25	27	23	27	23	23	13	17

3 次回協議会にて検討すべき項目

次回経営協議会での検討事項（案）

● 県内の医療機関との機能の比較

- ・ 県内の医療需要等の状況、外部要因の整理

● 県立病院として今後提供する医療内容

- ・ 政策的に実施する必要がある医療（がん・救急・小児・精神 等）
- ・ 各病院における今後提供する医療の方針（案）

● 今後の経営強化の取組案

- ・ 病院運営上の課題（医療・人材・経営 等）
- ・ 今後の経営強化の取組（案）

● 経営形態の比較

- ・ 各経営形態と医療内容・今後の経営強化の取組との整合